

10月 とれたて村給食だよ!

北海道十勝清水町



10月は北海道十勝清水町
から、**にんにく**をお届け
するっちい!



板橋区食育キャラクター

北海道十勝清水町はどんなところ?

清水町は北海道十勝平野の西部に位置し、豊かな大地が育む酪農がさかんな町です。

日高山脈に囲まれた清水町では、人口の約6倍の牛が飼育されており、生乳や精肉の生産量が北海道の中でも多いです。

～にんにくができるまで～

①



にんにくの実を
植えるっちい!



②



③



④



約35度

⑤



- ① (前年)9月上旬:あらかじめ収穫し、乾燥させたにんにくの実を一粒ずつわけて植える。
- ② 5月～6頃頃:植えたにんにくの芽が大きく育つよう、「間引き」や「とう摘み」を行う。
「間引き」…植えた芽が複数出ると大きく育たないため、適度に抜きとる作業のこと。
「とう摘み」…花が咲く部分をハサミで摘み取り、にんにくの実に栄養を多く届ける作業のこと。

- ③ 6月下旬～7月下旬:収穫できる大きさに育ったにんにくの根と茎を切って収穫する。
- ④ 7月下旬～8月頃:収穫したにんにくを約35度の温風で循環させた倉庫の中で乾燥させる。
- ⑤ 8月上旬～下旬:にんにくを大きさごとに選別し、出荷をする。

生産者の方からメッセージ

にんにくの生育期間は約10か月間と長く、冬のしっかりと積雪や春の暖かさが
あることで、にんにくがどんどん大きく育ちます。

スーパーで並んでいる状態のにんにくになるまでは、大変な作業が続きますが、食べる人の喜んでる顔を思い浮かべながらおいしいにんにくを育てています。

